

■7/8「第9回通常総会」ご報告

理事長 川岸 卓哉

7月8日、第9回通常総会を開催しました。総会で決議された概要をご報告いたします。

1) 市民参加の自然エネルギーによる発電事業

太陽光発電所1号機・2号機・3号機・4号機の発電事業は、いずれも順調に発電を続け、2022年度は、売電電力量が合計131,558kWhとなり、売電収入は合計3,417,676円（一般家庭約44世帯分・CO²排出量58トン削減。杉の木に換算すると約4,120本）となりました。売電利益還元事業については、後述の各企画の参加費の助成にあて、特に若年層に多く参加してもらうことができました。今年度も、無料上映会の企画費用、学習会・現地視察等のイベント企画補助、おひさまフェス×星空上映会 in かわさき協賛金に支出していきます。

2) 原発ゼロと自然エネルギーを普及・促進させるためのセミナー・イベントなどの実施及び情報発信事業

2022年度は、新型コロナウイルスの影響も収束がみえはじめ、イベントを再開することができました。7月には、総会にあわせて「気候戦士」の無料上映会とワークショップを実施し、60名以上が参加しました。また、9月には8回目となる「おひさまフェス×星空上映会」を開催、2500名以上の参加で盛り上がりました。12月には、「小田原かなごてファーム」の代表小山田大和さんのもとへ、再生可能エネルギーの学習とみかん狩りツアーを実施し25名参加、親子で楽しく学べる企画となりました。さらに、4月15日～4月16日は、東京電力福島原発の事故を学ぶ「原発事故&再エネ学習会 in フクシマ」を開催し、男女28名（うち、14名が30歳以下）が参加し、福島を学び、再生可能エネルギー普及に向けた活動への決意を新たにしました。

3) 原発ゼロ、自然エネルギーの政策提言事業

当NPOも参画している「川崎地域エネルギー市民協議会」の設立以来の目標であった川崎市の公営施設の屋根貸し事業について、メンバーが大きく貢献し、麻生市民館・図書館屋上の太陽光発電所の事業者採用され、設置へ向けた協定締結を経て、2022年9月28日から運転を開始しました。川崎において行政と市民の共同モデルが実現した意義は大きいものです。川崎地域エネルギー市民協議会に参画しながら、他団体とも連携し、川崎市政の再生可能エネルギー政策の前進のため、積極的に運動を広げます。

2023年度もご協力よろしくお願いいたします。



■7/8「モルゲン、明日」上映会&ワークショップ 開催報告



副理事長 田中 哲男

7月8日、第9回総会を夢ホールで開催しました。総会終了後の夕方から、武蔵小杉の川崎市総合自治会館ホールで無料映画上映会を記念イベントとして行いました。この企画は昨年からはじめた売電利益還元を目的に加えたもので、映画上映費用や会場費、チラシやSNSでの宣伝などの費用のすべてを、当NPO法人が負担しての企画です。

昨年上映したアメリカの映画「気候戦士 ～クライメート・ウォーリアーズ～」が好評だったこともあり、待望の二回目企画だったのです。今回の映画は2018年にドイツで作成された「モルゲン、明日」です。ドイツ社会の数年前の状況をドキュメンタリー形式で

映像にしたものですが、現在の日本の社会から見ると、はるか未来の話にも見えてしまう内容でした。

ドイツで今年の春に**脱原発が達成できた**というニュースが流れました。ドイツのリーダーが科学的に物事を判断できる人物だから、科学に基づいた決定を下すことが出来たのだと考えていたのは間違いでした。その原動力は多くのドイツ市民の運動にあったことが日本との大きな違いでした。東京電力福島第一原子力発電所の事故を受けての市民の動きに圧倒的な違いがあったのです。市民運動の違いの根底には、戦争加害への向き合い方の違いにあったように感じました。日本の教育では戦争被害については教科書に表記されていますが、加害についてはわすかです。なぜ戦争を止めることが出来なかったのかについても、ほとんど学びません。自国の利益の為に他国に戦争を仕掛けた大きな誤りについても学校教育は着目しません。ドイツには加害に対するモニュメントが町中に多数存在し、常に戦争加害と向き合いながら市民が生活しています。戦争犯罪に対して真摯に向き合い教訓とすることで、「間違えた」ことに対する軌道修正の速さがドイツにあったのだと思います。

ドイツに比べ日本は、間違えた事柄を軌道修正する積極的な当事者意識が欠けているように思えました。この違いが、脱原発という一歩先の社会に踏み出すことが出来たドイツにあったのです。調べてみるとドイツの投票率は日本のおよそ2倍あり、積極的な当事者意識の違いが、こんなところにも表れているのです。国別の幸福度もドイツ17位に対して日本は62位と乖離しています。当事者意識（市民運動や投票率）≒幸福度と言えるのかもしれませんが。

参加者には若い世代の割合が多く、ワークショップにも多数の方々が参加してくださり感想からは良好な企画でした。しかし、参加人数は主催者を含めて34人でした。10万円弱の費用をかけての企画としてのコスパを考えると多くの課題が残ります。



■8/20「見て、食して、学ぶ、ソーラーシェアリング楽習会」

理事 高橋 喜宣

NPO法人原発ゼロ市民共同かわさき発電所・売電益還元事業

子どもも大人も見て、食して、学ぶ
ソーラーシェアリング楽習会

さがみこファームは2019年から遊休農地を活用して、太陽の光でエネルギーと農作物を同時に育てる「ソーラーシェアリング」を神奈川県相模原市で初めて実現、ブルーベリーを筆頭に様々なベリー類や果樹を育てはじめています。36品種1100本のブルーベリーの味を堪能していただき、食して、学ぶ楽習会です。
*今年の生育は早く開催時にはすべて堪能できないようです。

さがみこファームの苗圃(エネルギー発電所とブルーベリー)ご案内は同ファームの小出電士マネージャー(写真)

- ・開催日時 2023年8月20日(日)8時~19時頃
- ・集合場所 JR南武線 武蔵溝ノ口駅 改札口前 07:45集合
- ・参加費 交通費+弁当付+旬のブルーベリー食べ放題
中学生以上3000円、4才以上2000円、幼児無料 25名先着順
- ・主な行先 神奈川県相模原市緑区青野原地区、相模湖見学(解説者付 予定)
- ・申込方法 右記QRコード、メール kawasakisaiene@gmail.com

主催： NPO法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所
〒211-0013 川崎市中原区上平間184-1-1002 (田中宛)
電話 担当高橋 044-722-6766

昨年2022年12月18日に開催して好評だった「みかん狩り&再エネ学習会」と同様な日帰りツアーを夏休み向けに企画しました。「子どもも大人も見て、食して、学ぶ、ソーラーシェアリング楽習会」です。

さがみこファームは、2019年から遊休農地を活用して、太陽の光でエネルギーと農作物を同時に育てる「ソーラーシェアリング」を神奈川県相模原市で初めて実現、ブルーベリーを筆頭に様々なベリー類や果樹を育てはじめています。36品種1100本のブルーベリーの味を堪能していただき、食して、学ぶ楽習会です。

*今年の生育は早く開催時にはすべての種類は堪能できないようです。

これは当NPOの売電還元事業として行っています。お子様連れでご参加いただきたいです。

- ・開催日時 2023年8月20日(日)8時~19時頃
- ・集合場所 JR南武線 武蔵溝ノ口駅 改札口前 07:45集合
- ・参加費 交通費+弁当付+旬のブルーベリー食べ放題
中学生以上3000円、4才以上2000円、幼児無料
- ・定員 25名 申し込み先着順
- ・主な行先 神奈川県相模原市緑区青野原地区 & 相模湖見学(解説者付き予定)
- ・申込方法 グーグルフォーム <https://forms.gle/fF2ybSRXauvogyCW7>

★申し訳ありません、定員に達しましたので、8月5日の時点で申込を締め切りました★

■9/30「第9回おひさまフェス×星空上映会」のお知らせ

おひさまフェス×星空上映会 実行委員会事務局 加藤 伸子(当NPO副理事長)

おひさまフェス×星空上映会は「自然と共に生きる」「市民が作った電気でお祭り」をテーマに、2015年に第1回を開催し今回で9回目を迎えます。



以下をテーマに今年も「おひさまフェス×星空上映会inかわさき 2023」を開催します。

1. 震災からの復興に心を寄せ、再生可能エネルギーへの関心を高める。
2. 「川崎らしい」多摩川の河川敷を会場とし、身近にある自然に親しみ魅力の再発見をする。
3. 子どもたちが自然の素材を使った遊びの楽しさを体験し、感動する心を育む。
4. さまざまな市民団体や個人の横のつながりをつくり、「コミュニティ」力の発展・強化につなげる。

**第9回 おひさまフェス×
星空上映会
in かわさき 2023**

9/30 Sat. 13:00~19:00
荒天のときは中止
入場無料

at ニヶ領せせらぎ館前の多摩川河川敷

市民がつくった再生可能エネルギーを使って、音楽イベントと映画上映会。多摩川で 地域がつながり人がつながる。暮らしたい未来は、自分たちで創ろう！そんな思いをこめたお祭りです。

体験 おそびコーナー 射的

おんがく 和太鼓 ハンド演奏 キッズダンス

食べもの アフリカ料理 ケバブ 駐菓子 シェラート かき氷

災害時にこんなに役立つ再エネ！
体験コーナー、クイズラリーもあるよ

再エネ&防災ひろば

非常事態宣言の発令などにより、開催を中止することがあります。ホームページをご確認ください。

主催 おひさまフェス×星空上映会 in かわさき実行委員会2023
〒211-0263 川崎市中原区小杉町1-403-5-404 事務局
おひさまフェス×星空上映会inかわさき実行委員会
電話FAX 044-722-6766 高橋方

共催 NPO法人 多摩川エコミュージアム
後援 川崎市教育委員会・川崎市

ohisama.hoshizora@gmail.com
http://ohisamahoshizora.strikingly.com/

以上を基に、出演者・出店者も昨年よりも拡大し、ほぼ決まりました。

昼間は出店者のブースでの飲食提供及び展示・販売を行いながら、「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」の太陽光発電にて充電した電気自動車の電源を使いステージを楽しんでいただきます。

このイベントの趣旨でもある「再エネ&防災」をテーマにした内容の展示・実演などを行います。夕暮れを迎えるころから、同電源を使って手作りスクリーンにて映画の上映を行います。

ステージの出演者(左下参照)は、昨年と同様に和太鼓仲間、キッズダンスほか 10 組。

あそびコーナーでは新たに駄菓子屋の木村屋さんの射的などが加わります。

飲食では常連となっているサラムケバブ、アフリカ料理 FOFO、新しいところではジェラートほか、多数出店します。

星空上映会の上映作品は、「木づかいで地球を救え!」「はらぺこあおむし」「トムとジェリー(ワルツの王様)」の3本を予定しています。

昨年以上に楽しいイベントにしたいと思っています。多くの方々のご来場をお待ちしています。

※当日のお手伝いを募集しています。ご連絡お待ちしております。

13:00~17:30 **おひさまフェス ステージ上演**

和太鼓・宿河原区舞太鼓と和太鼓仲間	吹奏楽・稲田中学校 吹奏楽部	よさこい踊り・好舞会	キッズダンス・Cube Dance Studio
フリーダンス・フィールドダンスクラブ	ギターデュオ・ハイタッチ	みんなで歌おう・大熊啓	トランペット・松平晃
腹話術・城谷まもる	ギター弾き語り・成田誠	紙芝居・紙芝居屋ろうことびび	鍵盤ユニット・COCOS





大手電機メーカーを早期退職し、現在は自閉症の方のグループホーム(町田福祉園)でヘルパーをしています。また、昨年から東京都下にある実家(空家)を活用して、地域コミュニティとしてのシェアキッチン“オナガハウス”を始めました。

かわさき発電所の田中哲男さんとは、子供の少年団を通じてのご縁です。家庭の事情もあり、かわさき発電所の活動に積極的に参加出来てなく申し訳ありません。

私が子供の時は昭和 40 年代で、廃棄される粗大ゴミを利用して、近くの川や原っぱが遊び場でした。現在は物が豊かになり大変便利になりましたが、心の豊かさは、経済の発展から比べると成長どころか、悪くなっているように感じます。

これからは、物質的な豊かさよりは、精神的な豊かさを伸ばして行く事が必要と思います。持続可能な社会を考えると、究極はお日様と共に活動し、お月様とともに休む、自然に合わせた生活が理想ではないかと考えます。

エコな生活が十分出来ていませんが、身近な所で努めています。エネルギー消費の大きい冷暖房はなるべく控える。ペットボトル飲料はなるべく飲まない。川崎市ではプラスチックゴミを分別していますが、その多さに本当に驚きます。これは目先のコストを優先し物流に多くの資源を使っているためかと思います。現状の物流を否定はしませんが、単純にコストだけで考えず、持続可能なシステムとのバランスを取る事が必要ではないかと思えます。

以前、自動車関係の仕事もしていたことから、最近、気になる事は電気自動車・ハイブリッド車の問題です。現在、電池の再利用システムが未確立であること。ハイブリッド車の場合、電池が劣化してもガソリンで走ってしまう事。近い将来にトータルでエコなシステムが出来る事を信じ、身近なエコを心掛けたいと思います。



原発ゼロ市民共同かわさき発電所は、いつでも**会員募集中**です！

【編集後記】

第9回通常総会を無事に迎えることができ、感謝申し上げます。2022年度の売電電力量は 131,558kWh、一般家庭 約4.4世帯分を再エネで賄っていることとなります。CO² 排出量削減に関しては約58トンの削減。杉の木に換算すると約 4,120 本植えたこととなります。(加藤伸子)

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189 (川岸)

